

## 正しく分別されていないと大きな負担に

ふたがついていたり、中身が入ったままの状態でごみ集積所に排出されたびんなどは、環境センターに運び込まれたあと、手作業でふたを外し、リサイクルできるようにしています。作業には多くの手間と時間がかかります。現場の負担となってしまう。また、ペットボトルはふたがついたままだと、収集する際に破裂する場合があります。

正しい分別を心掛けましょう。



一つひとつ手作業で行っています。



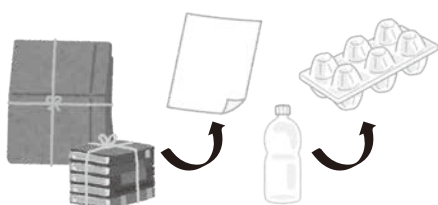
ふたがついた状態で排出されたびん。びんはふたを外し、軽く水ですすぎましょう。

## 燃やすごみを減らしましょう

燃やすごみは、燃やすことで多くのエネルギーを消費するとともに、燃やせば燃やすほど二酸化炭素を出し、地球温暖化が進行してしまいます。また、東埼玉資源環境組合で吉

### ①燃やすごみではなく、資源に！

紙・衣類、ペットボトルは材質としては燃えますが、きちんと分別すれば資源としてリサイクルできます。例えば、紙は何度でも紙として生まれ変わることができ、市で回収されたペットボトルは工場です卵パックに作りかえられています。



#### ●資源回収ボックス

紙・衣類を直接搬入できる資源回収ボックスを公共施設に設置しています。紙・衣類の収集日に出せるものが搬入できますので、ご利用ください。

### ②生ごみの水分を減らしましょう！

生ごみは約8割が水分です。生ごみの水分を絞ることで、臭いの解消やごみの減量に大きな効果があります。例えば、「生ごみ処理機」でたい肥に作り替えたり、生ごみ用の「水切り器」で水分を切るなど、工夫一つで燃やすごみの量を減らすことができます。



生ごみ処理機



水切り器

#### ●生ごみ処理機の補助金

電気式生ごみ処理機、生ごみ処理容器の購入費用の一部を補助しています。

#### ●生ごみ水切り器の無料配布

三角コーナーや排水溝の生ごみの水分を絞るための水切り器を無料で配布しています。

### ③食品ロスを減らしましょう！

食べられる食品をごみとして捨ててしまうことを食品ロスと言い、日本で年間約600万トンも出ています。食品を焼却するためには多くのエネルギーを使用するうえ、食品を製造・輸送・販売・調理などの過程で発生したエネルギーをすべて無駄にすることになってしまいます。



#### ●食品ロスを減らすための心掛け

- ①買い物に行く前に冷蔵庫をチェック
- ②定期的に冷蔵庫の中を片付ける

1人茶碗一杯分を毎日捨てていることに！

ごみの減量について  
詳しくはこちら

